

# 白銀工場のSDGsへの取り組み

白銀工場ではSDGsの持続可能な開発目標に向けて活動に取り組んでいます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 持続可能な開発目標(SDGs)とは

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

### ■食品ロスを出さない食生活

毎年地域の小学生を工場へ招き、食品ができるまでの行程を説明しています。

また、完成後に長期的に鮮度を保つ研究を工場で行い食品ロスを出さない様になっている事や、白銀の蒲鉾だけではなく、食品を無駄なく食べてほしいという想いを伝えています。



## ■子供達の貧困や飢餓から守る

毎月2回、宇部市の子ども食堂・みんなや食堂に蒲鉾を提供することで多世代交流や食育推進、文化、体験活動の一部を担っています。子ども達を貧困や飢餓から守り、だれ1人取り残さない社会を目指しています。

## ■環境問題に繋がらない持続可能資源の活用

現在、白銀工場で使用されている蒲鉾板は、森林伐採の環境問題に配慮し、天然木ではなくインドネシア松の木で「植林木」を採用しています。

このインドネシア松は気候に恵まれた土地で人工的に植林されており、僅か7年で成木となります。

伐採後は、伐採した数だけ政府が管理し、再び植林活動が行われています。

7年というサイクルで植林から伐採までを繰り返す為、環境にダメージを与える心配がありません。

